



## オリンピックの感動を挑戦するきっかけに

### I. 酷暑の夏休みに爽やかな風

夏休み明けの集会で、パリオリンピック陸上女子 100メートル競走で金メダルをとったジュリアン・アルフレッド選手のことを次のように紹介し、好きなことに挑戦する意欲を求めました。

アルフレッド選手はカリブ海に浮かぶ小さな島国セントルシアの選手です。面積は天草の下島とほぼ同じ広さで人口は18万人の国です。今回のオリンピックには4人の選手が出場し、アルフレッド選手の金メダルが国として初めてのメダルだったそうです。アルフレッド選手は、幼いころは裕福ではなく、靴が買えずに裸足で走り回る日々でした。また、陸上大会でよい結果が出始めてすぐの頃の12歳で父を亡くし、陸上競技をやめようと考えたこともあったそうです。

しかし、応援してくれる人々の勧めがあって、14歳で陸上競技が盛んな国ジャマイカに移住することができました。選手として「いつか彼のように走りたい。」と憧れたのは、ジャマイカ出身の男子100メートル世界記録保持者のウサイン・ボルトさん。オリンピック決勝の日の朝にもボルトさんのレース映像を見て気持ちを高めたそうです。アルフレッド選手は1位になってからセントルシアの国旗を身にまとい、天国のお父さんに「この金メダルが新しい競技場の建設などセントルシアのスポーツの発展につながることを願っています」と報告しました。

決して恵まれているとは言えない家庭で育ちましたが、このような素晴らしい結果になるまで努力した選手です。本当に素晴らしいと思います。セントルシアの人々はみんな大喜びだったと思います。勇気が出たと思います。自分の国の誇りです。私は、このレースの裏側を知って、スポーツに限らず、何でも、自分が上手になりたいとか、よくできるようになりたいとか思ったら挑戦し、頑張ることの素晴らしさを感じました。

本校の教育目標「ふるさとを愛し、主体的に学び、自律する児童の育成」の中の「主体的に学ぶ」に注目して、「『主体的に学ぶ』は勉強だけではありません。上手になりたいと思ったら自分から学ぼうと頑張ってください。誰にでも挑戦するチャンスはあります。皆さんが何に挑戦しようと思うのか、よかったら教えてください。楽しみにしています。」と結びました。ご家庭でもお子さんの「挑戦」に応援をお願いします。

また、生徒指導担当から「①校内ではあいさつが上手になった。今日からは地域の方々にもあいさつをしよう！②交通事故に気をつけよう。自転車はヘルメットをかぶり安全運転をしよう！」と呼びかけました。

### II. 台風への備えを頑張りました

台風10号の接近に備え、8月28日に校舎外の片付けを行いました。強風で飛ばされることが無いよう、屋内に入れたり、ロープや杭で強く固定したりしました。畑の野菜網も撤去しました。

子ども達が積極的に働きましたので30分程度で作業を終えることができました。校訓「気づき 考え 行動」が浸透しているのだと嬉しくなりました。



### 9月の主な行事予定

9月…5・6日(木・金)身体測定、11日・12日(水・木)5年生集団宿泊教室、17日(火)ボランティア活動日、18日(水)不審者避難訓練、19日(木)バレエ公演ワークショップ、26・27日(木・金)6年生修学旅行